彫刻用刃物とぎ機 取扱説明書 M-7型

■特　長

- ●バフの交換がナットをゆるめるだけでどなたでも簡単にできます。
- ●100Vで使用できます。
- ●送り刃でとぎますので安全です。
- ●彫刻刀のとぎ直しから超仕上げまでできます。
- ●印刀、平刃、丸刃、三角刃、スクイ刃等あらゆる形状の彫刻刀の表とぎ、裏とぎが簡単にできます。
- ●軽量、コンパクトで取手も付いて持ち運びが便利です。
- ●モートルの主軸にバフ等を直接取り付けていますので振動が少なく静かです。
- ●ネオンスイッチの採用によりONの状態が一目で判ります。

■使い方

- ●付属品のエメリー(青棒)をPVA砥石以外の金板、バフに塗って下さい。
- ●塗り方はスイッチを入れてバフを回しながら軽くあて、色がつけばOKです。
- ●使用後、バフの使用面のエメリーが目づまりで黒光りしてきたら付属のダイヤブリックで面修正をし、その後もう一度塗り直して下さい。

■とぎ方

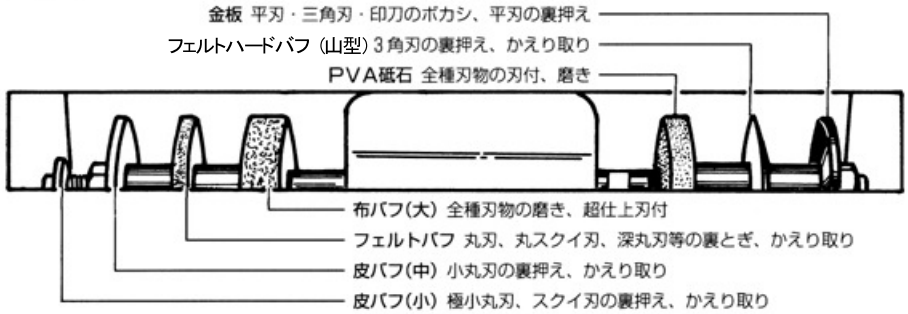
①PVA砥石で刃付をします(強くあてますと色がつき焼が戻る場合がありますので軽くあてて下さい。)
②布バフで仕上げをします。(表とぎ)
③フェルトバフ、皮バフのいずれかでかえり取り、裏とぎをして出来上りです。
※裏とぎは刃物の種類によって適合バフを使用して下さい。(下図参照)

- ●使用中切れが悪くなった場合は②、③だけで切れ味は回復します。
- ●刃先の角度を合わせてといで下さい。特に裏とぎをする場合、角度をつけたり、丸くしますと切れなくなりますので注意して下さい。

⚠ 安全に関する御注意

- ●アースは必ず取付けて下さい。漏電により、感電や故障の恐れがあります。
- ●作業時は、手袋を着用しないで下さい。巻き込まれる恐れがあります。
- ●この商品は乾式ですので、絶対に水をかけないで下さい。水をかけると漏電の恐れがあります。
- ●研磨する時は抵抗があり、刃物が飛ぶ恐れがありますので、刃物をしっかり握って使用して下さい。
- ●回転中は、バフ類に手が触れないようにして下さい。
- ●使用後は、必ずスイッチを切って、差し込みプラグをコンセントから抜いて下さい。

■バフ及び砥石の主な用途



■バフ及び砥石の取替え方法

1．モートル右側の主軸の切り欠きに付属の12㎜スパナを差し込み、主軸を固定して、右端のナット(左ネジ)を19㎜スパナで時計回りにまわしてゆるめて下さい。
左側のナット(右ネジ)は時計回りの逆にまわしてゆるめて下さい。
2．ナットをはずして順に砥石、バフを主軸からはずして取替えて下さい。
3．取り付けは逆の順序で行って下さい。
※時々掃除機等でホコリや研磨カスを取り除いて下さい。

■付属品

PVA砥石	60×10×12㎜ 1枚	金　板	60×3×12㎜ 1枚
布　バ　フ	60×15×12㎜ 1枚	エメリー棒(青棒)	1本
フェルトバフ	60×4×12㎜ 1枚	スパナ 12㎜	1丁
フェルトハードバフ(山型)	60×6×12㎜ 1枚	スパナ 19㎜	1丁
皮バフ(中)	60×4×12㎜ 1枚	6角レンチ 5㎜	1本
皮バフ(小)	25×3×6㎜ 1枚	ダイヤブリック	1個

株式会社 清水製作所
兵庫県三木市大村590番地
TEL.(0794) 82-1195㈹
FAX.(0794) 83-6116